

非核の政府を求める石川の会 会報

非核・いしかわ

講演要旨

核兵器のない世界の展望

憲法九条と「非核三原則」の輝く日本を

日本原水協代表理事 高草木博

日本原水協代表理事の高草木博氏を迎えて、一月二六日、石川県教育会館で「北陸原水協学校I ないしかわ」が開かれました。非核平和の日本と世界を実現する運動の講演要旨を紹介します。

「二〇二〇年までに核兵器廃絶を」

二〇一〇年八月、広島で藩基文国連事務総長は「被爆七五年となる二〇二〇年に、被爆者とともに核兵器の終わりを祝うことを誓おう」と挨拶されました。国連の基本的使命は人類に二度と戦争を繰り返させないことであり、国連の責任者として核兵器廃絶を必ず達成すると述べています。

二〇一五年の核不拡散条約(NPT)再検討会議では核兵器禁止条約の締結を決め、二〇二〇年には核兵器廃絶を実行することを目標にしています。被爆国日本の私たちの果たす役割は、日本政府に核兵器廃絶の声を挙げさせることです。

事務局

〒920-0848

金沢市京町 28-8

石川民医連労働組合気付

Tel 076-251-0014

ゆうちょ銀行振替口座

00760-0-15689

非核 5 項目

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

昨年一二月の総選挙では国防軍や集团的自衛権を掲げる安倍政権が誕生しましたが、比例区での得票率は二七%、小選挙区と比例区を合わせた得票率も三三%しかありません。非核平和や核兵器廃絶を求める国民世論は決して変わっていません。問題は変わっていない国民世論を結集することです。

ビキニ水爆実験の意味

一九五四年三月一日、アメリカが中部太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁で強行した水爆実験は、実用可能な核弾頭として初めて開発されたものであり、核保有国による核軍拡競争により人類絶滅の危機が問われた事件です。

有権者の半数を超える三二〇万筆の署名

ビキニ事件は、広島、長崎の被爆後、アメリカによる占領下で報道規制されていましたが、日本国民の反核平和の願いが爆発し、東京・杉並区の主婦らから始まった「水爆実験の即時中止」「原水爆の禁止」を求める署名運動は全国に広がり、当時の有権者の半数を超える三二〇万筆を記録しました。

このような国民的たたかいを沈静化させるため、アメリカ政府は「原子力の平和利用」を口実に原子

#核兵器廃絶

真昼に驚愕の北朝鮮の核実験。それを受けて調べると、核兵器廃絶日本NGO連絡会のブックレット「壊滅的な人道的被害」日本語版へのメッセージが目にとまった。よくまとまっているので内容の一部を引用したい▼日本は「唯一の戦争被爆国」として核軍縮・不拡散の取り組みに力を入れてきた。だが日本政府にはもう一つの顔がある。それは「核兵器依存国」としての日本だ▼昨秋の国連総会でノルウェーなど三四カ国は「核軍縮の人道的側面に関する共同声明」を発表したが、日本はこれに名を連ねなかった。その理由は核の「非合法化」が日本の「核の傘」依存政策と矛盾するからであろう▼日本政府は一貫して自国の安全のためには米国の核兵器が必要という考え方をとってきた。自ずと核軍縮の取り組みは、日本自身が「核の傘」に影響がないと考える範囲に留まらざるを得ない。今や一五〇カ国近くが賛同の声を挙げる「核兵器禁止条約」の交渉に向けた国際努力にも、日本政府は「時期尚早」と冷淡だ▼こんな日本を世界はシビアな目で見ている。核兵器の禁止に向けて行動を起こせるか、被爆国日本の真価が問われよう。(ま)



核兵器のない世界への展望を熱く語られた高草木博さん

力発電所を押し付けたことが、「第五福竜丸事件と日米原子力協力をめぐる米公文書」に次のように明記されています。

「原子力・核エネルギーが根本から破壊的だとする日本人の根強い観念を取り除くことは重要だ。原子力の平和利用を進展させる二国間、多国間の取り組みに日本を早期に参画させるよう努めるべきだ」

(国務省の秘密メモ「ビキニ事件と核問題」一九五四年一〇月一九日)

核兵器の廃絶は人類の緊急課題

ビキニ事件を契機に広がった原水爆禁止運動は、一九五五年八月に原水爆禁止世界大会を開催、同年九月に原水爆禁止日本協議会(略称・日本原水協)の結成、一九五六年八月に日本原水爆被害者団体協

議会の結成へとつながり、一九五七年には原爆医療法が成立、一九五八年には第一回国民平和大行進が始まっています。日本の原水爆禁止運動のすぐれた点は、核実験禁止だけでなく核兵器全面禁止、廃絶を掲げたことです。これはビキニ事件が残した重要な教訓です。

核保有国を含めて核兵器廃絶を合意

(二〇一〇年NPT再検討会議)

世界大戦後、「原爆は戦争を終わらせるために使われた」「アジアでの日本の侵略戦争を終わらせるために使われた」とかアイゼンハワー米大統領も「核兵器使用でアメリカの若者の命を救った」と述べています。

しかし、現在では「核兵器は廃絶させるためだけに存在している」と国民の認識が大きく変わっています。この変化をもたらしたのは、全てのNPT加盟国一八九カ国が核兵器廃絶に賛成した二〇一〇年のNPT再検討会議です。

合意事項の一つは、核兵器のない世界の平和と安全を達成することです。これがNPTの基本目標であり、原則であると規定したことです。

二つ目は核兵器のない世界を達成するため、その「枠組み」をつくることにすべての国の政府が努力すること。「枠組み」とは国際条約のことであり、核保有国を含めて全体で合意したことは重要です。

三つ目は核兵器禁止条約の交渉開始など五項目の国連事務総長提案への留意も合意されたことです。この二〇一〇年のNPT再検討会議の合意事項は、核兵器廃絶運動の現在の政治的到達点です。

さらに昨年一二月の国連総会でも圧倒的多数の国が核兵器廃絶に賛成し、三分の二を超える国がそのための交渉を開始することを主張しました。国際政治の舞台ではいまだどう合意を實行していくかが大きな課題になっています。

最大の障害は「核抑止力」論

最大の核保有国、アメリカが世界に核兵器がある限り核を維持していくと主張しており、これが核兵器のなくならない本当の理由です。アメリカは段階的に核兵器を減らすことを主張しているが、「核兵器をなくすことを世界が合意すること」以外に方策はありません。

藩基文氏は「抑止力」は安全保障に名を借りた妄想であると、次のように述べています。

「それでは、軍縮に代わる策とは何でしょうか。それは核抑止力への際限ない依存、飽くなき軍拡競争、野放しの軍事費増大、そして税金の無駄使いに他なりません。私たちはこれらにふさわしい呼び名を付けなければなりません。それこそまさに幻想であり、安全保障に名を借りた妄想なのです。現実世界を直視しようではありませんか。」(二〇一〇年八月六日、広島にて)

いま日本がやらなければならないのは、文字通り憲法に基づき平和外交による解決策です。アメリカの軍事力に頼るのではなく、アジアの国々と具体的に話し合うことです。核兵器のない世界を実現するためには、核保有国や軍事同盟国における非核平和の世論と運動を強めていくことです。世界で唯一の被爆国として、日本が核兵器廃絶の努力の先頭に立

つことが期待されています。

世界の反核平和運動の決意と協働

今年三月に核兵器使用の人的影響に関するオスロ会議、四月二二日から二〇一五年NPT再検討会議第二回準備委員会、八月三日〜九日に原水爆禁止世界大会、一〇月には国連軍縮総会第一委員会が計画されています。日本原水協はこのすべての場所で日本国民の意志を署名の形で示していきます。二〇一〇年ニューヨーク行動と同様に二〇一五年NPT再検討会議に向けて世界の反核平和運動の決意と協働により、国連への要請行動を実施します。

被爆国として、憲法九条をもつ国として

日本の平和と安全の道は、憲法に基づく平和外交にあること、これが多数世論です。改憲を掲げる安倍政権は七月参議院選挙で安定した多数を得るため、慎重姿勢を維持しています。

日本原水協は、日本政府が被爆国としてまた憲法九条をもつ国として、核兵器全面禁止を国際会議の場で提唱し、非核三原則の実行を内外に宣言するよう「非核日本宣言」第二次キャンペーンを行います。七月の参議院選挙までには日本の非核平和を求める世論を決定できるくらいにしたいものです。

私たちの運動は協働者を広げ、国民的な運動にすること、特に自治体との協力を重視します。そのためには原爆写真展などにより被爆の実相を広め、人道的な影響をアピールしましょう。国連の事務総長も賛意を表明している「核兵器全面禁止のアピール」署名、被爆国日本における署名の重要性を首長、

地方議員等に訴え、協力を求めましょう。

大義も道義も世論も私たちの側にある

今年の国民平和大行進や世界大会は二〇一五年から二〇二〇年に向けて核兵器をなくす動きを作り出す行動であり、期限を定めて日本の政治を変革していく大事な取り組みになります。大義も道義も世論も私たちの側にあります。この一年を大事にして頑張りましょう。
(文責：編集部)

非核の政府を求める会

東海北信越ブロック交流会を準備中

東海北信越では新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重の九県の会が活動をしておりあります。

非核平和の運動は内外を問わず予断できない緊迫した状況です。このような情勢の中、非核の政府を求める会のブロックの学び合う交流は意義あることと思います。

ブロック交流会は、近畿圏と関東圏の二か所で開催されています。

石川の会では全国の会の呼びかけに賛同し協力して行くことを確認しました。
交流会準備会は、四月六日(土)午後一時半から金沢市近江町交流プラザで開催します。

次号で詳細を紹介いたします

非核平和の海外情勢

○国連総会

第六七回国連総会で期限を切った「核軍備撤廃を求める非同盟諸国決議」は一二四票と圧倒的多数の支持を得ました。「核兵器国に核軍備縮小を迫る新アジェンダ連合決議」は一七五か国の賛成で採択されました。日本など九九か国提案の「核兵器の完全廃棄に向けて共同行動決議」は一七四か国の賛成で採択されました。マレーシアなど一三か国提案の「核兵器条約を求める決議」は一三五か国の賛成で採択されました。日本はこの決議に棄権しました。

今回新たに「核軍備縮小撤廃、多国間交渉を準備する作業部会設置決議」は一四七か国の賛成で採択されました。日本はこの決議に賛成しましたが理由は、カットオフ条約を推進するためと言い、核兵器禁止条約に言及しませんでした。「核兵器なき世界を実現しよう」との世界の流れが示された」と報告がありました。

○第二期オバマ政権

主要閣僚の国務長官に指名されましたジョン・ケリー氏は、反戦運動家出身で軍事介入に慎重な穏健派であり、国防長官のチャック・ヘーゲル氏は共和党の元上院議員でありながら、ブッシュ政権のイラク戦争を批判した人です。今後のオバマ政権の核兵器廃絶に向けての行動、国防政策の変化に注視したいと報告がありました。

(二〇一三年一月一八日、非核の政府を求める会の藤田俊彦常任世話人の情勢報告から)

NPPO法人の申請書を提出

「はだしのゲン」をひろめる会

二〇一一年秋から県内の小中学校への「はだしのゲン」の寄贈運動に取り組んできた核戦争を防止する石川医師の会、「はだしのゲン」翻訳ボランティアのプロジェクト・ゲン、石川県生活協同組合連合会などが呼びかけて設立された「はだしのゲン」をひろめる会（理事長 浅妻南海江／以下、ひろめる会）は、一月三十一日石川県NPPO活動支援センターに特定非営利活動（NPPO）法人の設立認証申請書を提出し、受理されました。NPPO法人の認証結果は三ヶ月後になります。

ひろめる会の事業計画は、（一）『はだしのゲン』の小中学校への普及、（二）『Barefoot Gen』（英語版）の国内外への普及、（三）原爆被害の実相と核兵器の非人道性の伝承、（四）核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等との協力事業、（五）会の活動状況や原爆資料に関する広報事業、（六）会の賛同者の募集等です。

非核の政府を求める石川の会では、昨年度から実施している県内自治体の非核・平和事業調査や平和市長会議加盟自治体等への訪問取材を通じて、ひろめる会との協力・協働を強めていきます。同会の設立趣意書を下記に紹介しますので、会員の皆さんのご支援をお願いします。

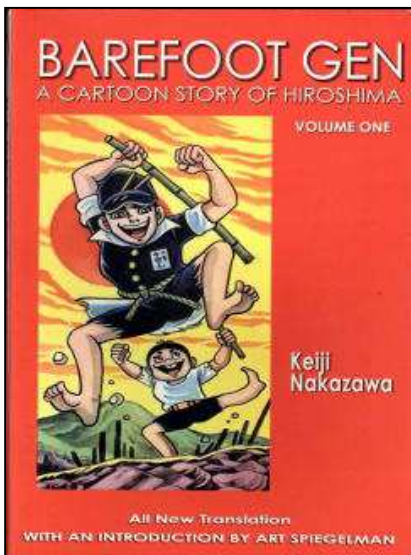
（連絡先）金沢市長坂三丁目一〇番二〇号 浅妻方
電話・FAX 〇七六―二四二―六五五九

「はだしのゲン」をひろめる会

設立趣意書

第二次世界大戦末期、日本が人類初の核兵器である原子爆弾の恐怖を体験して以来、六七年が過ぎました。二十数万人も犠牲者に加えて、今なお多くの被爆者は放射線障害の後遺症や社会的差別に苦しんでいます。国連総会や赤十字国際委員会は核兵器の非人道性を認め、国際的に核兵器禁止条約等の締結を求める動きが広がっています。しかし地球上には依然として一万九千発を超える核弾頭があり、人類の生存に脅威を与えています。

唯一の被爆国日本に生まれ育った私たちは、再び被爆者をつくらないため、あらゆる手段を使って世界中の人々に核兵器の非人道性を伝えなければなりません。これまで被爆者のみなさんが国内外で被爆の実相を証言してきましたが、高齢化を迎える中で若い世代への活動の引継ぎが急務となっていま



「はだしのゲン」英語版の表紙

す。その意味で核兵器の残酷さと平和の大切さを描いた漫画『はだしのゲン』（中沢啓治作／全一〇巻）の果たす役割は大きいといえます。この作品は一九七三年から週刊『少年ジャンプ』に掲載され、大きな反響をよびました。その後単行本となり、全国ほとんどの小学校の図書室に収められ、たくさんの子どもたちに読み継がれています。『はだしのゲン』は金沢のボランティアグループ「プロジェクト・ゲン」が翻訳した英語版、ロシア語版をはじめ、海外の多くの人々により現在約二〇ヶ国語で出版されています。

私たちは、思想・信条・民族・国境を越えて語りかけるゲンの平和のメッセージを国内はもちろん世界中の若者や子どもたちに届けることを目的として「はだしのゲン」をひろめる会を設立します。ゲンがはだしで五大陸を駆けめぐり自らの被爆体験を語りかけるとき、読者はゲンを通じて被爆の実相を理解し、苦境のなかユーモアを忘れず、たくましく生き抜くゲンに共感することでしょう。ゲンの物語に耳を傾ける若者が多くなればなるほど、私たちは未来に核兵器廃絶への希望を見出すことができます。

私たちは、核兵器廃絶の願いをになって今日もはだしで世界を駆けめぐるゲンの旅が、多くの実りをもたらすことを念じて『はだしのゲン』を国内外にひろめることに尽力します。

二〇一二年二月九日

「はだしのゲン」をひろめる会

設立代表者 浅妻南海江

詩人会議かなざわ「独標」より

すすむ
進さん—私のふくしま—

大川陽一

胸の中に

顔も声も知らないけれど

大切な人がいる

一九七一年 私が中学二年の夏

切手集めの雑誌で出会った 進さん

福島市の郵便局員さん 三十二歳

「故郷の*風景印を交換しませんか」

読者欄で見つけたその言葉と

東北、福島の響きに魅かれ

十四歳の私は手紙を書いた

少年野球のコーチと部員のような

文通が始まった

「福島は、いいところですよ」と

葉書に押されたばかりの風景印には

県花・石楠花が咲き

野馬追の馬が駆けていた

「君の将来の夢は、何ですか」

「この夏を、悔いのないようになり切りましょ

う」

人生の先輩の言葉は

先生のように いつも前向きだった

「定年になったら 釣り竿片手に

野山をジープで 駆け巡ろうと思えます

遠いけれど ぜひ遊びに来てください」

誘われながら いくつもの季節が過ぎ

ある時 奥さんから 便りが届き

進さんが もうこの世にいないことを知った

進さんの愛した ふくしまの

野山を 街並を 人々を想う

私たちの ふくしまの

明日を 想う

*風景印：全国の主要郵便局に備えられている
記念印。郵趣愛好家を中心に収集する人も多い。

和定例句会報より

宿題「強がり」

前田大峰 選

強がりも虫喰い矢ではすぐに折れ

一杜

強がりには集団自衛を笠に着る

啓

安倍ミクスオバマにみやげまだで強がり

茂明

人位

安倍自民支持減っても強がりいい

和子

地位

強がってバブルに賭ける奈落坂

一杜

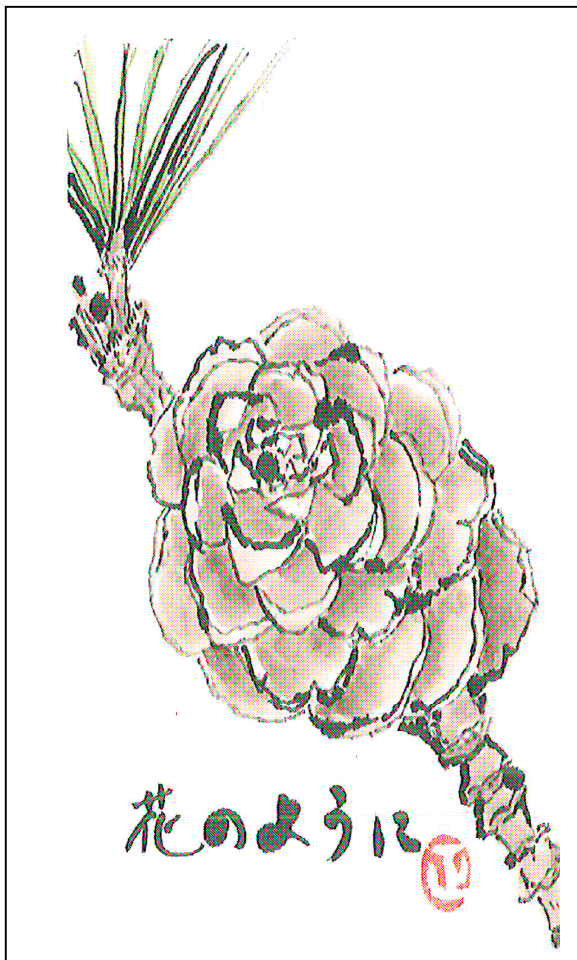
天位

杭一本打てない辺野古に強がりいい

林

軸

戦犯をかばって強がる三代目



絵手紙コーナー

高野慎の球果

金沢医療生協絵手紙班 家 正子

非核石川の会 リレーエッセイ

マスコミ報道と国民感情

長曾輝夫

昨年の竹島問題、尖閣諸島問題に続き、最近のロシア軍用機による領空侵犯、中国海軍フリーゲート艦による海上自衛隊護衛艦への射撃用レーダー照射など近隣諸国との緊張関係が続いています。当然、諸外国への威嚇行為や外交上のルール違反は許されない行為です。しかし、私は最近のマスコミは国民の感情を煽るように報道しているように感じます。テレビでは「(日本は) バカにされている」とか「舐められている」と表現する人が多く登場し、国民感情を煽っているように思います。国民に対して「見ているだけでなく、(武力による) 応戦できないと駄目だ」と主張する人もいます。マスコミは時の政権の政策を後押しする役割も持っていますが、今のマスコミはまさにその姿そのものと感じます。

昨年末の総選挙の結果、第二次安倍内閣が誕生しました。安倍首相は二〇〇六年九月からの第一次安倍内閣では「美しい国づくり内閣」と命名し、教育基本法の改悪、防衛庁を省に昇格、改憲手続法(国民投票法)の改悪など、国の行く末を大きく変える改悪を強行して翌年九月に退陣しました。

安倍首相は第一次内閣の方針を継続させています。憲法九六条を改正し、憲法改正のハードルを引き下げをすることを明言しています。また、自民党の石破幹事長は、以前に核兵器を持つべきとは思っ

ていませんがと言いつつ、「原発を維持するということは、核兵器を作ろうと思えば作れるという『核の潜在的抑止力』になっている。原発をなくすことはその潜在的抑止力を放棄するもの」と発言しました。安倍・石破路線は“戦争できる国づくり”をめざしています。

戦争参加政策を加速させれば、「核を持つ」「武器も持つ」などの流れになります。日本は先の戦争経験の反省で戦争に参加せず、平和を積極的に求めることを憲法で決めました。マスコミの報道に煽られ、危険な道を歩まないようにしなければなりません。

いまの緊張関係を「冷静な判断で外交努力を」と思います。その責任は政府にあり、私たちはその解決の道筋を迫るために行動しなければいけないと思います。私もその迫る運動と「原発なくせ」「非核を求める」「憲法改悪反対」の運動に参加していきたいと思えます。

最近つよく感じる事

橋本千佳子

昨年末の第四六回衆議院選挙と安部自公内閣発足のもとで、女性の願いと平和をかかげて半世紀歩んできた新婦人の会の役割がいよいよ求められています。

とりわけ重大なのは、国防軍の明記や集団的自衛権の行使など、憲法改悪をかかげる自民党と維新の会が、あわせて三分の二を超える議席を獲得したことです。公然と憲法改定をかかげた勢力が戦後初め

て多数を占め、改憲の是非を問う国民投票の発議を衆議院で議決できる条件ができたこととなります。

日本の女性運動は、第二次世界大戦でアジアの諸国民に多大な犠牲を強い加害国の女性として、戦後二度と再び政府の行為によって戦争は起こさせない決意し、力を合わせて憲法九条を守り、核兵器をなくせの声をひろげ、歩んできました。今こそ、「わが子を戦場に送らない」の世論で改憲勢力を草の根から包囲しなければ強く思います。

改憲勢力が揃って、アジア諸国や国際社会に反し、日本軍「慰安婦」問題の解決や民法改正などに背を向け、女性の人権を踏みにつけてきたことは偶然ではありません。

安倍政権のもとで、より一層の女性の人権と地位向上をめざすとりくみを重視していかねばならないと思います。今回の選挙で、女性国会議員が前回五四人から三八人に減り、全体に占める割合が一一%から八%に下がったことも重大です。二〇一二年のジエンダー格差ランキングの政治分野で世界一三五カ国中一一〇位から、さらに後退することになります。小選挙区制が女性の政治参加を阻んでいます。世界の大勢となっている比例制度を、日本の民主主義と女性の政治参加促進のためにも求めていかねばならないと思います。夏の参議院選挙に向け、切実な要求で運動をつよめながら、「私が選ぶ!」と政党を見極める話し合い、おしゃべりをひろげていきたいと思えます。

私のふるさと《宝達山》に想いをよせて

どの子にも生きる希望の持てる
教育と社会を

尾西洋子

今、多くの人の心を痛めている「いじめ」「体罰」問題、時には子どもを死にまで追い詰める子ども生きづらさの背景には「できる子」「できない子」と早くからより分け、子どもから「分かった」と喜びを奪っている日本の競争と管理教育があると指摘されて久しい。今、日本の子どもは、他国とも過去とも比べものにならない、強い苛立ちや孤独感を抱えて生きていると調査報告が出され、私はここまで子どもを追い詰めてしまった教育体制と社会は長続きしないし、長続きさせてはならないと思いを新たにしています。

第一次安倍内閣は、一五の春を泣かせる高校受験、一点差で決まる大学入試など他国に例のない「過度に競争的な教育制度が子どもたちの発達を歪めている。」と日本政府に改善を求めた国連の子どもの権利委員会からの再三の勧告を無視し、「教育基本法改悪を強行し、全国一斉学力テスト、教員免許更新新制など導入、より一層の競争と管理を学校教育に持ち込みました。その罪は重い。」

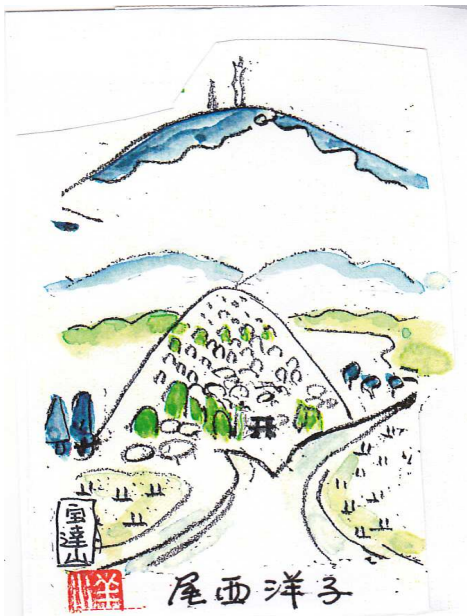
その安倍氏が再度、首相になり靖国派を中枢に据えた第二次内閣の教育再生会議が動き出しました。

「小学校からダメな子は落第させたらよい」「ダメ教師はキレ」「体罰は必要」など、石原元東京都知事や橋下大阪市長の人権侵害発言。わが石川県

も谷本知事の、国連から差別用語として廃止を求められた「非摘出子」の言葉が飛び出す異常さです。改めて教育とは何かが問われているのではないのでしょうか。私はいかなる「いじめ」「体罰」も人権侵害で「おかしい」という感性を失ってはならないと思います。

①「どの子も伸びる力を持っている」ダメな子もダメな教師もいない。教育とは instruction (指導)ではなく education (引き出す) こと。共感しその力を引き出す、ここにしっかりと立つこと。子どもの負の言動の裏には「人間らしく生きたい」前向きな願いや正義感が息づいています。その力が引き出された時子どもは変わる。そして教師もほんものになる。

②競争と多忙は人間をバラバラにします。世界から通用しなくなりつつある子どもの思考や創造性を歪めている競争的な教育から脱却すること。



③大人社会の「いじめ社会」に立ち向かい、いじめの無い人間的な連帯のある学校と社会をつくる共同を拓けて行く、そうした大人たちの姿を見て子どもは希望をつなぐのではないのでしょうか。

今は志賀原発から三〇km圏内にある宝達山は能登で一番高い山。中学・高校通学の約一里の道のりを、畏敬の念をもって見上げて通った。

大海川を挟んだ隣町は鶴彬の生地高松町です。

山懐へ黄いちご採りに出かけ、上から駆け降りてくるような霧は怖く、押されるように麓のお宮さんまで一気に逃げ下りた息遣いを今も思い出す。

山懐にある放牧場はかつて下校後、毎日のように通った段々畑で、一面の菜の花畑は実に絶景でした。その影で、祖母を真ん中に根気のいる草むしり、畝作り、切株で擦り傷をつくり、鼻を真っ黒にして

の収穫の作業は、兄弟取っ組み合いの光景とともに、収穫時の達成感は今も目に焼き付いています。

今、その山は実に小さくなって見えるが今も私の宝の山です。私はその地で、生きづらさに寄り添って、希望を語ってくれた恩師に出会い、「どの子にも生きる希望の持てる教師になりたい」と奨学金を受けて金沢大学へ入学、女子寮・白梅寮へ入った。それから五十余年、私の生き方の根っ子には子どもの人権や人間としての尊厳を踏みにじるような政治と経済社会に対する怒りがありました。

この信念で今年も「原発ゼロに」「憲法」を生かす生命と暮らしを守る社会と政治に力いっぱいがんばります。

《非核平和・行事予定》

- 三月六日(水)一二時半：核廃絶署名Mza前
- 三月八日(金)一八時半：二〇時国際女性デー講演「命・平和・くらし まもる女性の願い実現へ」・新しい日本への展望・講師：畑田重夫氏(国際政治学者・日本平和委員会代表主委員)・近江町交流プラザ・主催国際女性デー県実行委員会
- 三月九日(土)一四時：証言映画「もういいかい・ハンセン病と三つの法律」・労済会館三階ホール・参加費千円・主催ハンセン病支援・共に生きる石川の会
- 三月一〇日(日)一三時半：東日本大震災・福島原発事故から二年―即時原発ゼロ、志賀原発廃炉、被災者支援三・一〇集会―一五時二〇分くぱレード
- 三月一六日(土)一四時：「自民党憲法草案の学習会」講師：飯森和彦弁護士・近江町交流プラザ・主催金沢革新懇
- 三月一七日(日)一四時：原発報道「東京新聞はこう伝えた」講師：野呂法夫東京新聞特報デスク・金沢都ホテル七階・主催：石川県保険医協会
- 三月二四日(日)：加賀九条の会総会と講演・講師：岩淵正明弁護士
- 三月三〇日(土)一三時半：憲法講演会「安倍政権の成立と憲法の行方」講師：渡辺治(二橋大学名誉教授・九条の会事務局員)・労済会館三階ホール・主催：九条の会・石川ネット
- 四月六日(土)一三時半：非核の政府を求める会東海北信越ブロック交流会相談会・近江町交流プラザ
- 四月九日(火)一二時半：核廃絶署名Mza前
- 四月一三日(土)午前と午後の二回：新藤兼人監督「一

枚のハガキ」上映会・鑑賞券千円・石川県教育会館三階ホール・主催：映画「一枚のハガキ」を観る会

五月三日(金)休：輝け九条！憲法施行六八年石川県民集会・講演内容未定・石川県文教会館・主催九条の会・石川ネット

五月九日(水)一二時半：核廃絶署名Mza前

五月一八日(土)午後：学習会「志賀原発富来川活断層」・講師立石雅昭新潟大学名誉教授・主催原発をなくす石川県連絡会

五月一九日(日)：立石雅昭新潟大学名誉教授と行く「志賀原発富来川活断層」見学会・主催原発をなくす石川連絡会

五月一九日(日)一四時～一六時半・石川革新懇総会と記念講演・「TTP問題について」講師真嶋良孝農民運動全国連合会副会長・ITビジネスプラザ武蔵

六月一日(土)：非核の政府を求める会総会・東京

六月二日(日)午後：非核の政府を求める石川の会総会と記念講演(講師 五十嵐正博代表世話人)

六月六日(水)一二時半：核廃絶署名Mza前

六月九日(土)一三時三〇分：核戦争を防止する石川医師の会第二六回総会・記念講演「アーサー・ピナー」講演会・金沢市文化ホール二階大集會室

《編集室より》

◎本紙コラム「花鳥風月」で紹介されているブックレット『壊滅的な人道的被害』(A五判、二六頁、一〇〇円)は、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が核戦争防止国際医師会義(IPPNW)とピースボートの協力により発行した英文パンフの日本語訳です。同パンフは核兵器による健康、社会、

および環境への壊滅的な影響に焦点を当てて作成されており、核兵器は人道法に違反しているとの国際世論を高めるために発行されたものです。パンフのPDFが核戦争に反対する医師の会ホームHPに紹介されています。購入を希望される方は石川反核医師の会(電話〇七六一二二二―五七三七)までご相談ください。(か)

◎私たちは「人間らしく生きる」というあたりまえの願いを手にすることのできなかつた暗黒の時代の反省から、日本国憲法を生かし、みんなが「人間らしく住み続けられるまちづくり」の可能な時代を生きている。しかし一方で、その可能性を阻む厳しい現実が立ちふさがってくる。金沢市議のフェイスブックの記述にもあるように、いま、明日を生きることに助けを求める人たちが増えているようだ。生活苦から自殺者は毎年三万人を超え、介護殺人の四割は執行猶予の判決が出るという日本であるが、政府は「財政改革」と称して、社会保障を頼む多くの人々のセーフティネットからの切り離しを策し、生活を破壊する消費税増税と、財政を圧迫する大企業減税は、疲弊する地域経済をいよいよ萎縮させ「失われた二〇年」は戻らず、東日本大震災・原発事故で「失われた故郷」へは帰れない。

「住み続けられるまちづくり」。それは息の長い取り組みⅡ住民自治Ⅱの前進で「まちを解説するだけではなく、自ら住むまちを編集」してゆくことが求められる。市民が明日を築く街こそ世界に誇る街、と信じている。(こ)